

第8期山鹿市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）に関する
意見募集の結果及び市の考え方について

令和3年3月25日
山鹿市 福祉部 長寿支援課

「第8期山鹿市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）」について、市民の皆様からのご意見等を募集しましたので、寄せられましたご意見等の概要と、これらに対する市の考え方を下記のとおり公表します。

ご意見等をお寄せいただきありがとうございました。

記

- 1 募集期間 令和2年12月25日（金）～令和3年1月25日（月）
- 2 意見の件数 1件
- 3 意見の取扱い ①計画案に反映する ②施策反映させるための参考とする
③反映できない ④その他
- 4 意見・提案の概要と市の考え方

No	意見・提案の概要	市の考え方	取扱区分
1	<p>現状として高齢者の行き場がないように思う。具体的な方針決定の際は、運動機能を維持できる場、集いやすい場の提供をお願いしたい。</p> <p>また、高齢者が集いやすい場の中には、災害時の避難所にも使える所があると思う。日頃から利用する場所であれば避難所として認知度も高くなると思う。</p>	<p>ご意見の運動機能を維持できる場として、市内12箇所に介護予防拠点の設置や、はつらつ学校を実施しています。</p> <p>集いやすい場としては、各地区毎（市内163箇所）で、ふれあいサロンを実施しています。</p> <p>また、少人数での自主的な活動として公民館等できいき百歳体操が行われており、実施箇所数も増えています。（地域リハビリテーション活動支援事業）</p> <p>災害に必要な支援の一つとして避難所の状況を共有することとしています。</p> <p>市内の避難所については、本市のホームページに掲載しております。このようなことから、本計画においては、現行どおりとしますが、前述した各種「集まりやすい場」のさらなる拡大及び、市民の皆様への周知に努めてまいります。</p>	④

No	意見・提案の概要	市の考え方	取扱区分
2	<p>高齢者が美味しく体にいい食事をとれるように飲食店に食事券を配布して、飲食店に通うことで地域との結びつきをもたらし、孤立を防ぐ事も可能ではないか。</p> <p>また、健康状態をポイント化して運動習慣をつけさせることで、介護予防の普及につながるのではないか。</p>	<p>高齢者の食事に関しては、在宅で自立した生活を支援するため、配食と安否確認を併せた食の自立支援事業を行っています。</p> <p>ただ、ご意見のような食事券の配布はおこなっておりませんが、外食される方には、熊本県が発行しております『くまもと健康づくり応援店2020年版ガイドブック』で栄養バランスを考慮したメニューを提供できる店舗が紹介されていますので、周知に努めたいと思います。</p> <p>また、健康ポイントの件に関しましては、平成30年度より本市健康増進課の事業で実施しております。さらなる連携を図ることとし、計画に記載いたします。</p>	①
3	<p>車による移動が多いため、脚力低下の傾向が強いように感じる。鹿北町にある「ゆ〜かむ」のような歩行浴ができる施設が山鹿市中心部にも欲しい。</p>	<p>ご要望のような施設の新たな建設は、現状では困難ですが、市内中心部の民間温泉施設にも歩行浴を設置しているところがあります。</p> <p>このようなことから、本計画においては、現行どおりとします。</p>	④